

# PWM型DC/DCコンバータIC

#### 概要

NJM2374A は、低電圧動作可能な、DC/DC コンバータ IC です。PWM 制御方式を採用しており、操作性の向上を図っ ています。

1.5A のパワートランジスタを内蔵し、少ない外付け部品 で、ステップダウン、ステップアップ、インバータ等のアプ リケーションを構成できます。

また、サイクル・バイ・サイクルの電流制限回路を内蔵し ており、外付け抵抗にて任意の設定が可能です。

#### 外形







NJM2374AM



NJM2374AE

NJM2374AV

#### 特徴

電源電圧範囲  $(2.5V \sim 40V)$ NJM2374AE の電源電圧範囲  $(2.5V \sim 48V)$ 広域発振周波数 (100Hz ~ 100kHz) (1.5A max.)

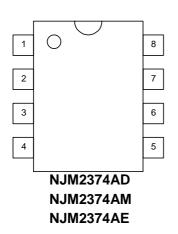
パワートランジスタ内蔵

過電流検出回路内蔵

PWM 方式スイッチング電源制御 バイポーラ構造

外形 DIP8, DMP8, EMP8, SSOP14

# 端子配列



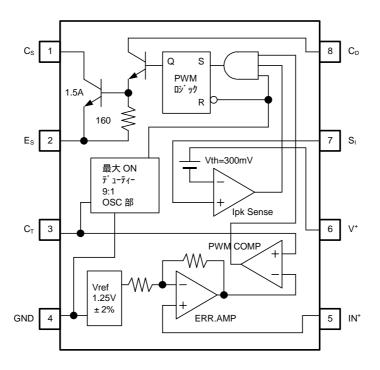
ピン配置	
1.C <sub>S</sub>	5.IN <sup>+</sup>
2.E <sub>S</sub>	6.V <sup>+</sup>
$3.C_T$	$7.S_{l}$
4.GND	8.C <sub>D</sub>

14 13 12 11 10 9 8

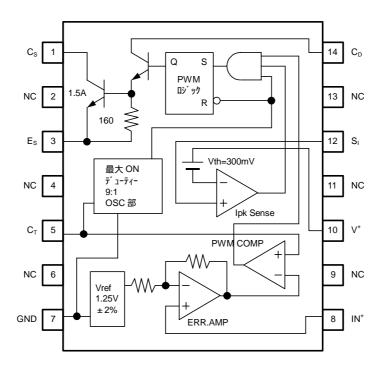
ピン配置 8.IN<sup>+</sup> 1.C<sub>S</sub> 2.NC 9.NC  $3.E_S$ 10.V<sup>+</sup> 4.NC 11.NC 5.C<sub>⊤</sub> 12.S<sub>I</sub> 6.NC 13.NC 7.GND 14.C<sub>D</sub>

NJM2374AV

# ブロック図



(DIP8, DMP8, EMP8: PACKAGE)



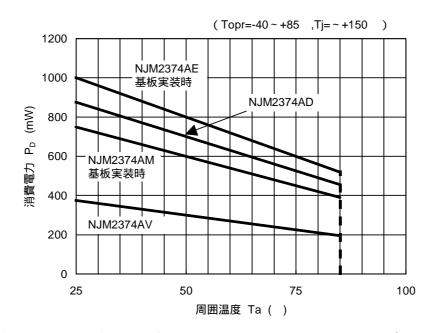
(SSOP14: PACKAGE)

絶対最大定格 (Ta=25 )

項目	記号	定格	単 位	
電源電圧	V <sup>+</sup>	40 (NJM2374AE: 48V)	V	
出力スイッチ電流	I <sub>SW</sub>	1.5	А	
出力スイッチ耐電圧	$V_{SW}$	40 (NJM2374AE: 48V)	V	
コンパレータ入力電圧	V <sub>IR</sub>	-0.3 ~ 40 (NJM2374AE: -0.3 ~ 48V)	V	
消費電力	P <sub>D</sub>	(DIP8) 875 (DMP8) 750 (注) (EMP8) 1,000 (注) (SSOP14) 375	mW	
動作温度範囲	Topr	-40 ~ +85		
保存温度範囲	Tstg	-50 ~ <b>+</b> 150		

(注) DMP8, EMP8 の消費電力は基板実装時とします。 内蔵パワートランジスタを用いた降圧アプリケーションの場合、 出力電圧 6V 以下の使用に限定されます。

# 消費電力 - 周囲温度特性例



SSOP パッケージは、パッケージパワーが小さいため、発熱を十分に考慮してご使用ください。

# **NJM2374A**

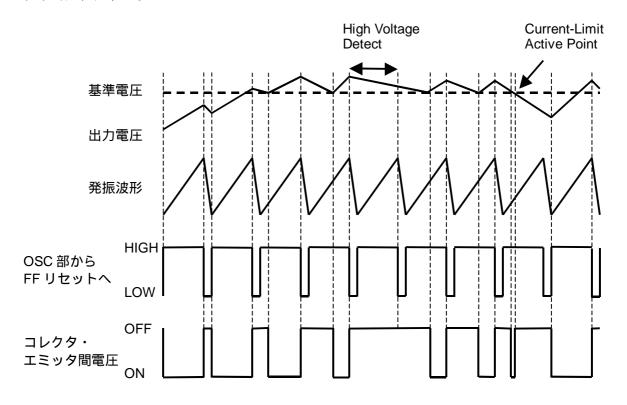
電気的特性

直流特性 (V+=5V, Ta=25 )

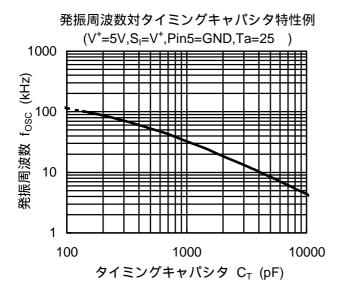
項目	記号	条件	最小	標準	最大	単位
消費電流1	I <sub>CC1</sub>	$C_T=1nF, S_I=V^+, IN^+ > V_{th}, E_S=GND$	-	2.8	4.0	mA
消費電流 2 (NJM2374AE のみ)	I <sub>CC2</sub>	$V^{+}=48V, C_{T}=1nF, S_{I}=V^{+}, IN^{+} > V_{th}, E_{S}=GND$	-	3.4	4.5	mA
充電電流	I <sub>chg</sub>		12	20	30	μA
放電電流	I <sub>dis</sub>		110	180	300	μΑ
電圧振幅	$V_{OSC}$		-	0.5	-	$V_{P-P}$
充放電電流比	I <sub>ratio</sub>	$S_{l}=V^{+}$	1	9	-	-
電流制限検出電圧	$V_{ipk}$	I <sub>chg</sub> =I <sub>dis</sub>	250	300	350	mV
飽和電圧1	$V_{sat1}$	ダーリントン接続(C <sub>S</sub> =C <sub>D</sub> ),I <sub>SW</sub> =0.7A	1	1.0	1.3	V
飽和電圧 2	V <sub>sat2</sub>	I <sub>SW</sub> =0.7A,Ic(driver)=50mA (Forced 14)	ı	0.5	0.7	٧
出力トランジスタバイアス抵抗	$R_{\text{bias}}$		-	160	-	
直流電圧利得	$h_{FE}$	$I_{SW}$ =0.7A, $V_{CE}$ =5.0V	35	120	ı	-
オフ時コレクタ電流	$I_{C(Off)}$	V <sub>CE</sub> =40V (NJM2374AE: V <sub>CE</sub> =48V)	-	10	-	nA
スレッシホールド電圧	$V_{th}$		1.225	1.250	1.275	V
入力バイアス電流	$I_{IB}$	IN <sup>+</sup> =0V	-	40	400	nA

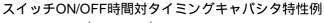
(注)出力スイッチテストは消費電力を最小にするためパルス条件で行う。

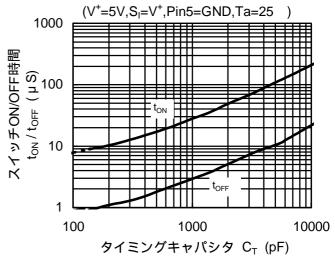
# タイミングチャート

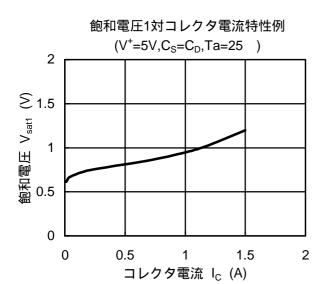


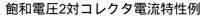
#### 特性例

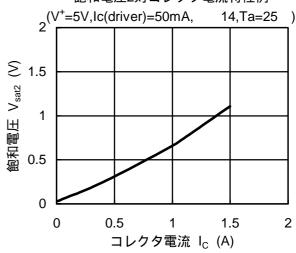


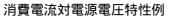


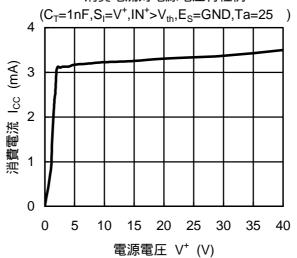




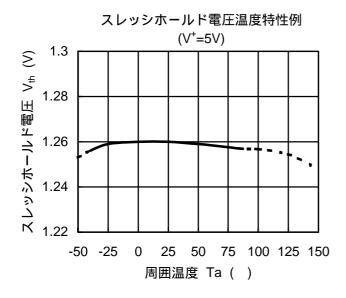


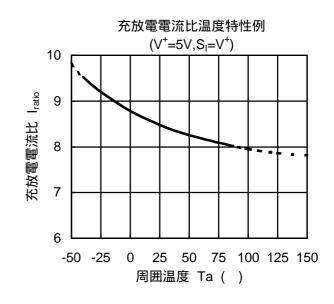


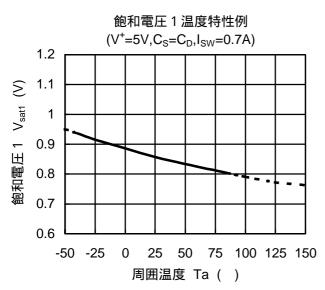


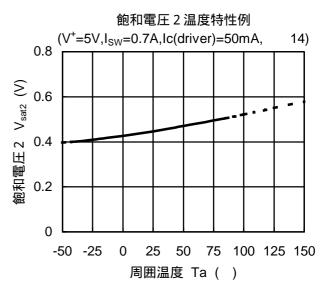


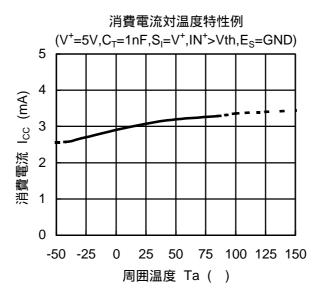
特性例





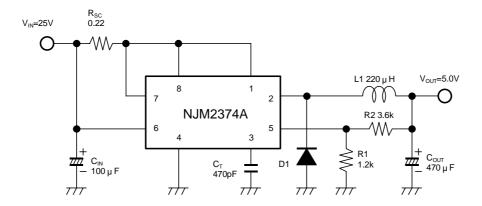






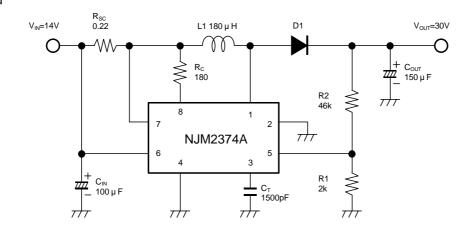
### アプリケーション回路例

#### 降圧回路

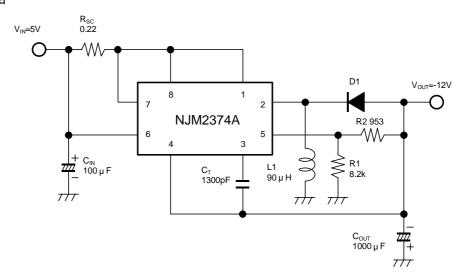


内蔵パワートランジスタを用いた降圧アプリケーションの場合、 出力電圧 6V 以下の使用に限定されます。

# 昇圧回路

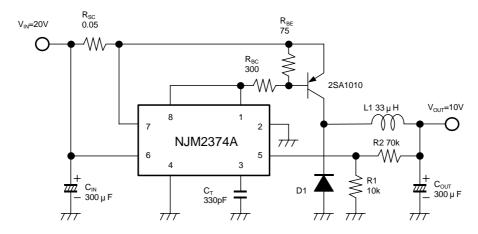


#### 極性反転回路

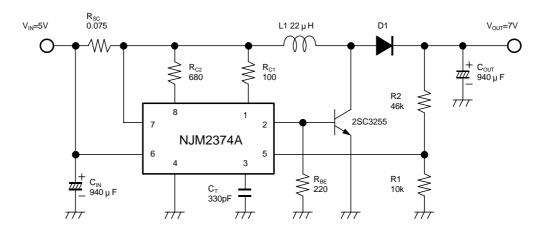


D1 は、ショットキーバリアダイオード(SBD)を使用してください。 SSOP パッケージは、パッケージパワーが小さいため、発熱を十分に考慮してご使用ください。

# 降圧回路(大電流)



# 昇圧回路(大電流)



D1 は、ショットキーバリアダイオード(SBD)を使用してください。

このデータブックの掲載内容の正確さには 万全を期しておりますが、掲載内容について 何らかの法的な保証を行うものではありませ ん。とくに応用回路については、製品の代表 的な応用例を説明するためのものです。また、 工業所有権その他の権利の実施権の許諾を伴 うものではなく、第三者の権利を侵害しない ことを保証するものでもありません。